

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度第1回水道運営委員会
開 催 日 時	平成23年8月19日（金）午後1時30分から午後3時00分まで
開 催 場 所	水道課別棟会議室
出席委員(者)氏名	立澤利夫（会長）、小野寺よし子（副会長）、山崎勝他、飯箸幸弘、沖敬子、斉藤幸男、森田京子、山田清智
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	吉川市長 戸張胤茂、水道課長 萩原澄、課長補佐兼庶務係長 芳澤誠、庶務係主査 岡田一直、施設係長 秋谷裕司、主事 山崎徹、主事 横峯賢司
会議次第と会議の公開又は非公開の別	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 市長あいさつ 3 会長あいさつ 4 職員紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成22年度吉川市水道事業会計決算について (2) 平成23年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）（案）について (3) 会野谷浄水場施設整備更新事業の経過報告について (4) その他 6 閉会 <p>以上、すべて公開</p>
非公開の理由（会議を非公開にした場合）	
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成22年度吉川市水道事業会計決算書 2 平成23年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）（案） 3 平成22年度吉川市水道事業会計決算状況について 4 平成23年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）（案）概要 5 平成23年度補正予算（第1号）工事箇所図

	<p>6 会野谷浄水場施設整備更新事業（A3判図面）</p> <p>7 平成23年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表</p>
会議録の作成方法	<p><input type="checkbox"/>録音機器を使用した全文記録</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>録音機器を使用した要点記録</p> <p><input type="checkbox"/>要点記録</p>
会議録確認指定者	<p>沖敬子委員、山田清智委員</p>
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

課長補佐	1 開会
市長	2 市長あいさつ
立澤会長	3 会長あいさつ
課長補佐	4 職員紹介
事務局	委員出席状況を報告 委員全員が出席であることを報告 会議成立を報告 会議が公開であることを報告 傍聴者がいないことを報告
課長補佐	会議資料の確認 議事進行を立澤会長に依頼
	5 議事
立澤会長	会議録の署名委員に、沖委員と山田委員の2名を指名 (1) 平成22年度吉川市水道事業会計決算について
水道課長	平成22年度吉川市水道事業会計決算について説明
立澤会長	それでは、ただいまのご説明について、ご質問がございましたらよろしく お願いします。
山崎委員	給水人口は増えていますが、有収率が減少しているのはどういう要因があるのかという点と、特別損失4,656,064円が出ておりますが、その特別損失の増加というのは水道料金の回収不能な額もあると思うのですが、その点につきましてどのような考えでしょうか。また、増加傾向にあるのでしょうか。

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

施設係長

まず、有収率の関係ですが、今回一人当たり2リットル増加していますが、主な要因としましては、猛暑の影響があったと考えられます。

配水量に対して料金に反映したものを、有収率と言います。

総水量と有収水量の差が出た主な要因は、残留塩素が0.1以上との水質基準があり夏になると水道管内が熱くなり、残留塩素が低下するため基準を維持するために捨て水をさせて頂いております。また、給水管等の漏水件数が多く発生した事により、有収率が92%台となっている状況であります。

課長補佐

2点目の特別損失の今後の増加が予測できるのかというご質問ですが、特別損失につきましては主にメーター器の売却でございます。例えば、メーター器の価格が300万円だったとしまして、200万円で売却した場合、100万円の売却損が出ます。この売却損が特別損失として固定資産売却損という形になります。その他でございますが、過年度損益修正損というものがございまして。こちらは、不能欠損、例えば、会社が倒産した場合、無届で転出等された場合、お亡くなりになった場合など、そういった場合には料金を回収することができませんので、不能欠損ということで、特別損失として処理しているところでございます。この他に、検定満期メーターを毎年売却しますので、資産と売却額との差額を固定資産売却損として特別損失に計上しますので、今後もこのような形になることが予想されます。

山崎委員

再質問させていただきます。先ほどの有収率は、0.04%減少しているということですが、人口は増えているのにこれが減少しているということは、漏水がどこかで無駄に起きているのではないかと考えますが、そういった観点からは考えられないでしょうか。また、特別損失の話がありましたが、これは使用者の過去の水道料金の回収が影響していないのでしょうか、それともメーター関係の金額が大きいのでしょうか。

施設係長

1点目の有収率につきましては、若干減少した要因は、総配水量の中には、猛暑による残留塩素低下の対策に捨て水を行ったことや、新しい水道管を埋設した場合、管内を洗浄し水道水を供給するため、駅南地区など大規模な区画整理事業においては、施工延長が長いので洗浄する時間も長くなるため料金に反映しないものが増えたこと、また、漏水についても、昨年度は件数が多かったことが、原因と思われまして。

現在、本管は、耐震管のダクタイル鋳鉄管で布設替えを実施しており、同時に車道部分の給水管もポリ管等からSUS管に宅内の第一止水栓まで行っておりますので、今後工事が完了すれば、漏水件数も減る状態になり有収率が若干伸びてくると思われまして。

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

水道課長	<p>2点目の再質問でございますが、特別損失で水道料金との絡みというお話でございますが、水道事業の特別損失の一つには、固定資産売却損ということで、これが量水器の関係で、もう一つの過年度損益修正損ということで、こちらが水道料金に係るところでございます。不能欠損の金額、これが過年度損益修正損ということになります。水道事業の場合、約5年間で長期的に見ますと、水道料金の収納率が99.8%、ほぼ100%に近い状況で水道料金は収納してございますが、0.2%が未収という状況になります。この部分が特別損失として跳ね返ってきますので、やはり水道料金の未収が関係ないとはいえない状況です。</p>
立澤会長	<p>よろしいですか。他にございませんか。それでは、次の議題に移らせていただきます。</p>
水道課長	<p>(2) 平成23年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)(案)について 平成23年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)(案)について説明</p>
立澤会長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問がございましたらお願い致します。 ありませんか。なければ次の議題に移らせていただきます。</p>
施設係長	<p>(3) 会野谷浄水場施設整備更新事業の経過報告について 会野谷浄水場施設整備更新事業について経過報告</p>
立澤会長	<p>ありがとうございました。ただいまのご説明でご意見がございましたらお願いします。</p>
森田委員	<p>資料4の一番下の平成23年度の太陽光発電の部分についてですが、平成23年度で太陽光発電の工事をすることですが、水道課全体で何%ぐらいの電気が発電できるのでしょうか。また、その費用はどれくらいかかるのでしょうか。</p>
施設係長	<p>太陽光発電につきましては、21kWを計画させて頂いております。 水道課にて使用している電気料は、会野谷浄水場で30分当たりの使用量は100kW、南配水場で30分当たりの使用量は、60～70kWに近い電力量を使用しています。 合計すると170kWになりますが、計画電力量は、8分の1となります。</p>
<p>審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)</p>	

施設係長	<p>太陽光発電設備の設置につきましては、電気量の軽減を図る事を目的としております。</p> <p>太陽光の発電量は、21kWのため施設内で全て消費する形になりますが、通常使用している電気量の軽減が図れます。現在、設計をしておりますが、約3千万円の金額がかかる予定ですが、今後入札等によって落札者が決まれば、契約者及び請負額等を皆様にお知らせいたします。</p>
立澤会長	<p>よろしいですか。他に、委員の方、ご質問はございますか。</p>
山崎委員	<p>放射性物質について、検査はどのようにやっていますか。</p>
施設係長	<p>現在、吉川市の水道水につきましては、埼玉県の水の購入が86%近く、地下水については14%となっています。県水については毎日実施しているのですが、検査時間が数時間かかるものですから、今日取った水については明日のお昼までにホームページに掲載されております。現在のところ、全て不検出、セシウム、ヨウ素については不検出という状況になっています。</p>
山崎委員	<p>吉川市の水道の総配水量に対する使用量といえますか、供給に対する使用量は何%ぐらいが現状なのでしょうか。</p>
水道課長	<p>決算書の一番最後のページをご覧くださいませ。そのNo.3の最大稼働率とありますが、これは最大に使ったときで85.69%で、まだ15%近く余力があります。この最大稼働率というのは、1年365日の1回だけのことの数字ですので、普通は施設利用率76.51%、こちらが通常の運営時のものです。</p>
施設係長	<p>現在、会野谷浄水場には、ポンプが3台あり配水量8.5トンが2台、6.5トンが1台あります。南配水場のポンプにつきましては、配水量10トンが1台、8トンが1台と予備が1台あります。それぞれを合計して1日当たりに直しますと、約27,400m³配水する事が出来ます。昨日の配水量は、約21,800m³で最大配水量の8割のポンプ能力で運転している状態です。</p> <p>武蔵野操車場跡地地区の人口増加に対する対応のため、今年度ポンプを増設する予定がありますので、予備ポンプとなり運用面において、余裕が出来る状態になります。</p>
<p>審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)</p>	

立澤会長	<p>他に質問はございますか。 無いようでしたら、その他、事務局からお願いします。</p> <p>(4) その他</p>
課長補佐	平成23年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表（案）について説明
立澤会長	この予定についてご質問はありますか。
山崎委員	10月頃の視察はあるのですか。
課長補佐	今まで10月に視察を行っていたのですが、2月に新しい中央監視室を見学していただこうと思います。
立澤会長	他にございませんか。無ければ議事が終わりましたので、これにて終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。
課長補佐	立澤会長ありがとうございました。それでは、閉会のことばを小野寺副会長にお願いしたいと存じます。
小野寺副会長	<p>今日は御足下の悪い中、委員会にご協力いただきましてありがとうございました。</p> <p>これをもちまして平成23年度第1回吉川市水道運営員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成23年11月18日</p> <p>署名委員 沖敬子（自署） 署名委員 山田清智（自署）</p>	